



開院 5 年目で生駒市立病院約 2 億 1, 600 万円黒字化見込み -引き続き医療の体制・質の向上に努めます-

平成 27 年 6 月に開院した生駒市立病院は、平成 30 年 4 月から許可病棟の 210 床をフルオープンしました。患者数や手術件数は開院当初から増え続けており、今年度は医業利益が約 2 億円黒字化する見込みです。また、救急応需率も約 95%となっています。

今後も、手厚い看護師の配置、高気圧酸素治療室の整備など、引き続き医療の体制・質の向上に取り組んでいきます。

■ 患者数は開院当初の 2 倍以上、手術件数は約 4 倍に

平成 30 年度の 1 日平均患者数は、入院約 130 人、外来約 210 人で、開院初年度から 2 倍以上増えました。年間の手術件数も、約 1,350 件で開院初年度の約 4 倍になりました。



■ 救急応需率は約 95%

平成 30 年度の救急応需率（救急要請に対して受け入れた割合）は約 95%で、本市で発生した救急搬送の約 4 件に 1 件を市立病院で受け入れています。

また、4 月から救急科に常勤医師 1 名が着任しました。救急入院や CT・MRI・内視鏡などの検査に対応できるよう、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師・事務職員が当直し、休日夜間の救急受入体制を整えています。

■ 今年度の医業利益は約 2 億 1, 600 万円の黒字を想定

生駒市立病院は、民間のノウハウを活用してサービスの向上や経費節減を図るため「指定管理者制度」を採用しており、今年度から指定管理者である医療法人徳洲会から指定管理者負担金約 2 億 6,500 万円が毎年返済されます。

指定管理者負担金差し引きする前の今年度の医業利益（医療行為による収入から、医療用の材料費等を差し引いた医業本来の利益）は約 2 億 1, 600 万円の黒字を想定しています。

(2/2)

■ 手厚い看護師配置・HCUの増床

より手厚い体制とするため、現在の患者10人に対し看護師1人から、今年度は患者7人に対し看護師1人の配置を目指します。また、重症の救急患者や手術後の患者を受け入れるHCU（準集中治療室）を7床から8床に増床する予定です。

■ 高気圧酸素治療室の整備

高気圧の中で酸素を吸入することで、悪性腫瘍や骨髄炎などの病状の改善がされる高気圧酸素治療室を整備します。これは、さらに一酸化炭素中毒症や脳梗塞など救急患者への治療にも有効です。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市地域医療課（課長 石田） ☎0743-74-1111(内線 491)